**第３８回北海道高等学校弓道選抜大会南北海道大会**

**兼　第５４回全国高等学校弓道選抜大会南北海道地区予選会**

**確　認　事　項**

１．会場について

（１）射場　　３人立３射場（団体および個人予選・個人決勝）／２射場（団体決勝リーグ）

　（２）控　　　第 １ 控…本座　　　　　　　　　　　　　　　／本座

　　　　　　　　第 ２ 控…射場内本座後方（会場図１参照）　　／射場内本座後方（会場図１参照）

　　　　　　　　第 ３ 控…アリーナ入り口（　　 〃　　 ）　　／アリーナ入り口（　　 〃　　 ）

　　　　　　　　第 ４ 控…体育館ホール　（　　 〃　　 ）　　／体育館ホール　（　　 〃　　 ）

　（３）安土　　射場の境界を白線で示す。

２．競技について

　（１）大会要項に示した競技順序は変更しない。

（２）団体競技で、参加申し込み時より、または当日棄権者により３名を欠いた場合、２名以上を団体として認める。

　（３）個人戦の決勝について、優勝者を決める場合には全員的中を失しても射詰めを繰り返す。

　　　　９射目以降使用する２４㎝星的は次の規定による。

　　　　『星的は中心を、白地直径の３分の１の黒色円形とする。』（全日本弓道連盟弓道競技規則より）

　（４）個人戦の決勝については次の要領で行う。

　　　　　ア．決勝において、順位は上位から決する。

　　　　　イ．遠近競射は、原則として第１射場の二的を使用する。

ウ．競射を行う場合も、原則として坐射で行うが、補充戦等は時間の関係上立射で行う場合もある。

 （５）競射順について

　　　　９月１１日（日）苫小牧市弓道場にて北海道弓道連盟南部地区会長・苫小牧弓道連盟理事長立ち会いのもと、厳正な代理抽選を行いましたので、別紙によりご確認下さい。

　（６）立順について

　　　　　ァ．団体参加申込書の番号（１～３）はチーム内の立順を示すものとする（団体参加申込書の番号４・５は補欠）。

イ．団体予選、個人予選・決勝終了後、団体決勝リーグ進出校で抽選を行うので、代表者１名は道場内に待機していること。

　　　　　ウ．個人戦においては、第１射場の一の立からプログラム番号順に立つものとする。

ゼッケンは、選手の学校名が表示されていればよい。

（７）表彰および全国大会への出場資格

　　　　　ア．表彰は男女とも団体３位、個人５位までとする。

　　　　　イ．全国大会への出場資格

　　　　　　　　団体：男女各優勝校１校　　個人：男女各優勝者および第２位各１名

　　　　　ウ．個人戦において、予選通過者が５名未満の時、入賞者は予選通過者のみとする。予選通過者がいない時は入賞者なしとし、全国大会出場資格者を予選的中上位者から選ぶ。同中の場合は、射詰競射とする。

３．競技規則等について

　（１）替え矢　　選手は競技の際に替え矢を２本持参し、監督に預けておくこと。

　（２）射　法　　原則として坐射とする（遠近競射の際も含む）。また、取り矢をすること。

事情により坐射や取り矢ができないときは、参加申し込み時に所定の申請書を添えること。

大会直前に急に坐射や取り矢ができない事情が生じたときは、大会当日の監督会議に所定

の申請書を提出すること。

（３）制限時間　団体戦で制限時間後の矢は無効となる。

　（４）追い越し発射

追い越し発射は認められないが、審判の指示がある場合はその限りではない。（原則とし

て指示はしない。）追い越し発射の場合、その矢は無効とする。

（５）矢の交換　筈割れ等により、替え矢との交換が認められるのは、矢番え完了以前までである。筈こぼれ等の引き直しは、矢番え完了以降は無効である。矢番え完了とは、矢を番えてから右手を右腰にすえた時をいう。

（６）弓具の照準　故意に目印になるものをつけてはならない。※弓具点検時にガムテープなどで覆う場合

がある。

（７）行射の一時停止

的ずれや的落ちがあった場合、赤旗を出し放送により一時停止をかける場合がある。この場合は計時も一時停止する。（選手は射場審判の指示があるまで、競技を続行していること。）

（８）的中表示と判定

判定は的中表示盤で「あたり」は○、「はずれ」は×で表示する。

（９）異議申し立て

監督席についている監督章をつけている者（１名）または顧問は「あたり」・「はずれ」の

異議を申し立てることができる。異議の申し立ては矢を抜き取る前に、挙手をして進行係

または射場審判に申し出ること。その後の申し立てについては受け付けない。

　（10）選手交代　選手交代届は交代受付（会場図参照）に提出すること。

（11）点呼・弓具点検

選手は必ず点呼・弓具点検を受けること。点呼は第４控で弓具点検は第３控で行う。第２

控に移動する前に点呼、弓具点検を受けていない選手は失格とする。

　（12）アドバイス・私語の禁止

第1控に入場後、射場を退場するまで、選手・監督は私語を慎むこと。特に選手同士およ

び監督から選手への声の掛け合い・アドバイスは厳禁する。また、観覧席等からも声を掛

けてはならない。

　（13）応　援　　応援は拍手または「よし」の短い発声にとどめ、それ以外の発声または行為をしてはなら

ない。

　（14）監　督　　監督は参加申込書に記載された引率教諭を原則とするが、大会当日、生徒が代行できる。

なお、その際は、右腰前にリボン（監督章）をつけて監督席に座ること。

　（15）観戦態度　観戦する者は静粛にし、大会の運営や競技の妨げになるような言動や行為をしてはならな

い。射場内での写真撮影は禁止する。また、射場外から撮影する場合も選手の行射の妨げ

にならないよう配慮する。携帯電話は呼び出し音や話し声が競技の妨げとなるので、会場

に持ち込まないこと。

４．運営に関して

　（１）受付は８：３０より道場内で行う。学校別に封書を手渡す。

　　　　内容　①プログラム４部　②監督章２枚（競技終了後、本部に返却のこと）

　　　　　　　③選手交代届（男子団体：３枚、女子団体：３枚）＊団体戦出場の学校のみ。

　（２）開会式・閉会式は矢道で行う。ステージに向かって各校１列で整列する。選手は各自ゼッケンをつけて開会式に臨むこと。

　（３）昼食時間・休憩時間は原則としてとらない。

　（４）本座に椅子を置く。選手は進行係の号令で起立し、「始め」の発声で揖をして射位に進む。

　（５）巻藁をサブアリーナに設置する予定。なお使用に際しては顧問立ち会いのもとで十分に周囲に配慮して、安全に行うこと。

　（６）伊達市総合体育館の利用に関しては別紙「会場使用上のお願い」を参照のこと。

５．その他

（１）公式練習について

　　　　９月３０日（金）１３：００から１８：００までです。地区ごと、学校ごとの時間割当はありませんので、適宜練習してください（練習は無料）。混み合う場合は、安全に留意して譲り合って練習してください。なお以下の注意事項をお守りください。

1. 安全確保のため、射場に必ず顧問がつき、選手の指導を行って下さい。
2. 矢取りは補助役員が行います。「矢取りを行います。打ち起こしを中止して下さい。」の声がかかりましたら、赤旗があがるまで、とりかけをせずに待機していてください。
3. 高体連室蘭支部専門委員、または係役員が詰めておりますのでその指示に従って下さい。
4. 控え室はサブアリーナとなっています。会場図をご参照ください。

（２）その他の練習会場について

　　　　室蘭市弓道場　拓心館（６的）（室蘭市宮の森町１丁目１番）

９月３０日（金）１０：００～１９：３０

１０月１日（土）１０：００～１７：００

地区ごと、学校ごとの時間割当はありませんので、適宜練習してください（練習は無料）。混み合う場合は、安全に留意して譲り合って練習してください。なお、以下の注意事項をお守りください。

1. 安全確保のため、射場に必ず顧問がつき、選手の指導を行って下さい。
2. 会場の開閉は室蘭弓道連盟で行いますが、補助役員はおりません。矢取りは利用者で協力して行ってください。声かけ・赤旗の使用をお願いします。
3. 弓道場の駐車場は非常に手狭です。また、中嶋神社の駐車場は使用しないでください。中島公園野球場の駐車場が利用可能ですが、土曜日は特に混雑が予想されますのでご理解ください。